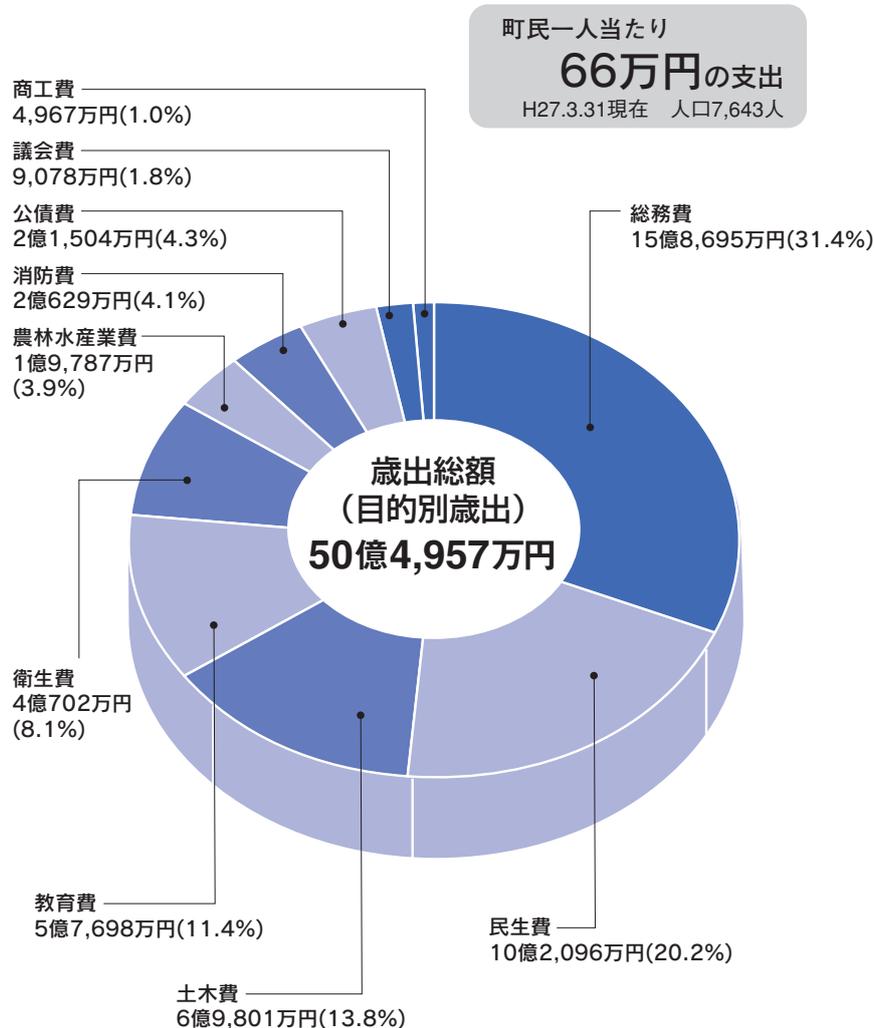


平成26年度

決算

のため健全な財政運営に努めました



一般会計の歳出は50億4,957万円で前年度に比べ0.2%の増となりました。

平成26年度 歳入歳出決算総括表

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	53億8,419万円	50億4,957万円	3億3,462万円	
特別会計	国民健康保険	12億4,679万円	11億5,215万円	9,464万円
	農業集落排水	7,527万円	7,527万円	0万円
	公共下水道	3億8,042万円	3億5,760万円	2,282万円
	介護保険	5億7,097万円	5億4,577万円	2,520万円
	後期高齢者医療	7,266万円	7,207万円	59万円
合計	77億3,030万円	72億5,243万円	4億7,787万円	

財政状況の公表

平成26年度決算が、9月18日の第3回定例議会で承認されました。決算は、平成26年度に皆さんが納めた税金などをもとに、どのような事業が行なわれたかを示すとともに、町の一年間の歩みの結果でもあります。

平成26年度、町には、一般会計と5つの特別会計があり、各会計の決算の概要についてお知らせします。



●町の財産

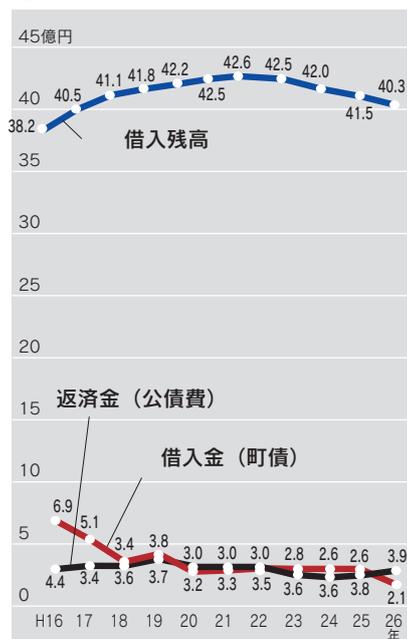
(前年比)

土地	666,713㎡	21,586㎡
建物	52,383㎡	3,138㎡
基金	17億8,632万円	-3,093万円
有価証券 及び 出資金	11億2,658万円	5,611万円

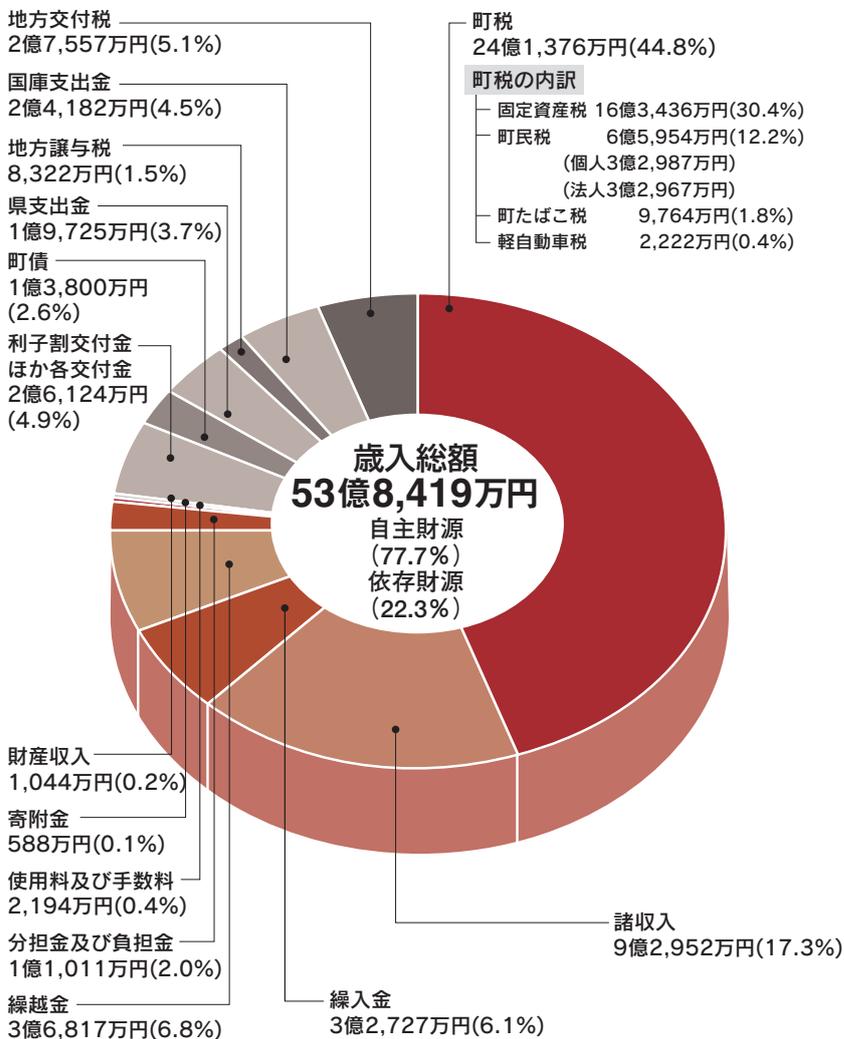
●町の借りているお金 (全会計)

区分	現在高
一般会計	24億3,323万円
特別会計 (下水道関係)	15億9,566万円
合計	40億2,889万円

●町債の状況 (全会計)



快適さ豊かさを実感できる町づくり



一般会計の歳入は53億8,419万円で前年度に比べ0.4%の減となりました。

健全化判断比率及び資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成26年度決算をもとに算定した財政健全化比率及び資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率の4指標のうち1つでも基準を超えた場合は、「財政健全化計画」や「財政再生計画」を定めることになっていますが、芝山町では財政健全化判断比率及び資金不足比率でも基準を超えることなく、健全な財政を保っています。

◎財政健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
芝山町数値	-	-	4.5	-
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0

(注意) 実質赤字額、連結実質赤字額又は将来負担額がない場合は、「-」と表示。

◎資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	-	20.0
公共下水道事業特別会計	-	20.0

(注意) 資金不足額がない場合は、「-」と表示。

[用語の説明]

- ・実質赤字比率…一般会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・連結実質赤字比率…全ての会計における赤字の程度を指標化したもの。
- ・実質公債費比率…借入金およびそれに準じた経費の一般財源における比重を指標化したもの。
- ・将来負担比率…一般会計の借入金や将来支払っていく可能性のある経費などの現時点での残高の程度を指標化したもの。
- ・資金不足比率…公営企業会計の資金不足を料金収入などの額と比較して指標化したもの。

特別会計決算

■国民健康保険 (単位: 万円)

歳入	項目	収入額	歳出	項目	支出額
	国民健康保険税	2億9,616		保険給付費	6億8,679
国・県支出金	3億3,222	共同事業拠出金	1億3,257		
前期高齢者交付金	2億4,797	後期高齢者支援金等	1億5,440		
繰越金、繰入金等	3億7,044	総務費・積立金等	1億7,839		
計	12億4,679	計	11億5,215		

■農業集落排水事業

歳入	項目	収入額	歳出	項目	支出額
	使用料及び手数料	1,395		事業費	2,207
繰越金、繰入金	6,091	総務費	1,636		
諸収入等	41	公債費	3,684		
計	7,527	計	7,527		

■公共下水道事業

歳入	項目	収入額	歳出	項目	支出額
	国庫支出金	5,861		事業費	2億32
繰越金、繰入金	2億2,644	総務費	2,471		
町債	7,000	公債費	1億3,257		
分担金及び負担金、使用料・手数料等	2,537				
計	3億8,042	計	3億5,760		

■介護保険

歳入	項目	収入額	歳出	項目	支出額
	国・県支出金	2億49		保険給付費	4億7,184
支払基金交付金	1億4,056	総務費	2,731		
繰入金、繰越金、財産収入等	1億4,007	基金積立金、地域支援事業費等	3,574		
保険料	8,985	諸支出金	1,088		
計	5億7,097	計	5億4,577		

■後期高齢者

歳入	項目	収入額	歳出	項目	支出額
	保険料	4,424		納付金	6,327
繰入金	2,675	総務費	595		
諸収入	167	諸支出金	285		
計	7,266	計	7,207		

一般会計性質別決算

(単位: 万円、%)

区分	平成26年度	
	決算額	構成比
1. 消費的経費	36億7,750	72.9
(1) 人件費	9億3,953	18.6
ア 職員給	5億6,969	11.3
イ その他	3億6,984	7.3
(2) 物件費	9億687	18.0
(3) 維持補修費	3,419	0.7
(4) 扶助費	3億6,266	7.2
(5) 補助費等	11億2,559	22.3
(6) その他	3億866	6.1
ア 投資等	6,610	1.3
イ 積立金	2億4,256	4.8
ウ その他	0	0.0
2. 投資的経費	5億7,713	11.4
(1) 普通建設事業	5億7,713	11.4
ア 補助	1億6,763	3.3
イ 単独	4億950	8.1
(2) 災害復旧事業	0	0.0
ア 補助	0	0.0
イ 単独	0	0.0
3. 公債費	2億1,504	4.2
4. 繰出金	5億7,990	11.5
合計	50億4,957	100.0

平成26年度 公共施設の 利用状況等	公共施設	
	項目	利用者数
公共施設	福祉センター利用者数	21,376人
	文化センター入場者数	12,080人
	芝山古墳・はにわ博物館入館者数	8,787人
	総合運動場	
	体育館（農業者トレーニングセンター）利用者数	3,040人
	武道館利用者数	240人
	フットサルコート利用者数	785人
	テニスコート利用者数	610人
	陸上競技場・野球場利用者数	1,490人
	芝山公園野球場利用者数	2,371人
スポーツ広場利用者数	244人	
その他	検診受診者数	4,216人
	予防接種者数（ポリオ、日本脳炎 ほか）	2,445人
	小中学校年間給食供給数	107,932食
	農業用廃プラスチック処理量（再利用）	108トン



観光協会稲刈り（9月12日）